

わかる議会

常任委員会の議案審査のコト

議会に提出された議案を各委員会に付託します。そして、各委員会において専門的に話し合いを行い、議案を審査します。

総務文教 常任委員会

燕市職員の特殊手当に関する条例の一部改正

燕市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

燕市内の指定病院等での不在者投票の状況について伺う。

現在市内の15施設の病院、福祉施設等が指定されている。

令和元年度 燕市一般会計補正予算(第3号)

「総務費、一般管理費」の防犯カメラ設置補助金について伺う。

市民厚生 常任委員会

令和元年度 燕市一般会計補正予算(第3号)

「交通対策費」の循環バス観光・イベント連携社会実験事業について、想定している具体的なイベントや周知方法、運行方法などについて伺う。

具体的にはまだ確定していないが、夏から秋以降の下半期で行うイベントを想定し、10日間の運行を予定。広報はもちろんのこと、イベントのチラシへの掲載、各バス停への掲示など、考えられる方法を尽くして周知に努めたい。

運行については、イベントの利便性を高めるほか、イベントとの相乗効果でスワロー号の休日以外の利用者の増加にもつなげるため、シャトルバスの運行ではなく、平日と同様のダイヤでの運行としたい。

障がい者や高齢者への配慮については、利用しやすい別の方法を検討すべきと考えている。今回の社会実験を踏まえ、弥彦村との連携や、春のイベントにあわせた運行についても今後検討していきたい。

「児童福祉費」の未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付事業の具体的な内容について伺う。

基準日における未婚者を対象に、1回限り、一人1万7500円を追加して支給する。金額の根拠は国からの通知に基づき、所得税法の特別寡婦控除額35万円に最低税率の5%をかけたものである。



産業建設 常任委員会

令和元年度 燕市一般会計補正予算(第3号)

「商工費」の小売商業活性化事業と、補助金の申請件数が増加となっている現状について伺う。

「商店街などの空き店舗を利用し開業したい」という方とつまくマッチングができていないこと。さらに地域の方とのつながりのほか、さまざまな情報ツールを活用して相談や仲間を募ったりできることが、新しい店舗開業の実現の可能性を高めていることが要因と考える。

「土木費」の新堀新町線 踏切幅歩道整備事業と、事業の今後の見通しについて伺う。

今年度、測量設計等を行い、来年以降JRと計画及び実施について協議し、令和4年度以降、踏切改修工事の予定である。

事業実施に時間がかかる理由について伺う。

踏切道改良促進法で、来年までに完了できないものは、改良計画書の作成が義務付けられている。今回、拡幅として来年までに完了できなくなったことから、踏切道改良計画書の作成が必要となった。JRとの協議に時間を要することから、長いスパンでの事業実施となっている。

「その他」

踏切工事に関する要望や要請は、国や県などによって異なるのか。

ほかに改良が必要な踏切はあるのか。

これまで議会報の制作を主としていましたが、広報活動を加え、より活動範囲を広げた委員会となりました。今回はそれに伴い、インターネット等を利用し、広報活動が盛んな愛知県と三重県の先進的な市を視察しました。

視察に行きました

議会広報等特別委員会

愛知県刈谷市

「かりやっこページ」

市内全中学校の3年生に、社会科の授業の一環として、分かりやすく市議会の説明をするため、「かりやっこページ」を用いた説明を行っている。若いうちから、政治に参画する意識を持ってもらうことは、とても大切だと感じた。「声の議会だより」は、刈谷市議会だよりを音声情報にしたもので、市ホームページに掲載し、導入当初に比べてアクセス数が増えているという。



三重県松坂市

「議会のトコナリ」

行政活動においても、フェイスブックやツイッターなどのソーシャルメディアを有効に活用することで、市民への情報提供や意見を聞くことができる。さらに、災害情報や防災情報をいち早く多くの市民に伝えるためにも活用している。また、松坂市議会の「トコナリ」は、子どもたちが読みやすいようにマンガが中心になっていて、松坂市での行政や議会活動を親しみやすい内容で掲載している。



三重県四日市市
「Livebook」(LIVEBOOK)
2016年4月から「議会情報」を積極的に発信することで市議会についての理解を深めてもらい、より開かれた議会を推進「する」として、「Facebook」で市議会のページを開く。議会の日常のほか、常任委員会での調査テーマを募集したり、提出された議案に対する市民の声も募るなど、市民目線で活用している。

